

1 日時	平成25年12月24日（火） 13時30分～15時45分
2 場所	防府市役所1号館3階 南北会議室
3 出席者	<p><b>【委員】</b>            十楽委員、岡永委員、今川委員、林委員、村田委員、池永委員、柳委員、脇委員、湯面委員、東福委員、島岡委員、山崎委員、島田委員、広石委員、原田委員、宮本委員、白石委員、潮見委員、福田委員</p> <p>※欠席：馬庭委員</p> <p><b>【行政推進委員】</b>            山根学校教育課長補佐            （事務局）            清水健康福祉部長、清水健康福祉部次長、中谷子育て支援課長、柳子育て支援課長補佐、金澤子育て支援課長補佐、岸本子育て支援課主任            （コンサルタント）            株式会社ぎょうせい 木下主任研究員、池田主事</p>
4 傍聴者	2名
5 議題	（1）ニーズ調査の実施について （2）その他

## 1 開会

## 2 健康福祉部長挨拶

- 現在、ニーズ調査が終了した段階であるが、来年9月くらいには、子ども・子育て支援事業計画を策定しなければならない。
- 子どもを取り巻く環境は、行政にとっても、事業者にとっても多くの課題を抱えており、サービスを充実していくためには、皆様の協力があることであり、来年もお願い申し上げます。

## 3 議事

- 会議の成立

### 【事務局】

- ・ 出席委員17人で総委員数の20人の過半数を超えており、会議

の成立を宣言。(開会后、委員2名出席のため、議事は19人で進行)

○ 会議の公開

【会長】

会議は前回同様、公開として進行する。

(1) ニーズ調査の結果(速報)について

【事務局】

- ニーズ調査は、就学前の保護者・小学校の保護者、それぞれ2,000世帯ずつを抽出し実施した。
- 当初、回答期日を10月22日までとしていたが、回収率が伸びなかったため10月31日までに延期した。
- 回収は就学前1,213世帯(回収率60.65%)、小学校1,200世帯(回収率60%)であり、目標の50%を上回るものとなった。
- 今回は単純集計だけだが、3月開催予定の次回会議において分析結果・自由記述意見もあわせ、報告書の形で報告したいと考えている。
- 本ニーズ調査のほか、市において「幼稚園園児保護者の就労状況等に関するアンケート」、県において「認可外保育施設の利用状況に関する調査」を実施している。幼稚園関係のものは本日報告し、認可外保育施設関係のものは、今後県から情報提供される予定である。
  
- 株ぎょうせいよりニーズ調査結果(速報)について説明。
- 事務局より「幼稚園園児保護者の就労状況等に関するアンケート」の集計結果について説明。

【委員】

ニーズ調査結果で回答項目が途中で切れており、どの回答項目に回答されたのかわからない。

【事務局】

レイアウト上、表示することができず、申し訳ない。  
調査票と集計結果で回答項目が上下逆になっている。

【委員】

無回答がいろいろなところに出てくるが、無回答の扱いはどうなる

のか。

**【柵ぎょうせい】**

今回は全体結果を見せるために無回答を入れている。実際の集計は、集計方法について国から指示があり、行うこととなる。

**【委員】**

幼稚園の預かり保育の状況について、何時からが預かり保育になるのか明解にしなければ、預かり保育が何時間あるといわれてもわからない。

**【事務局】**

幼稚園の状況については、市の方で把握できていないというのが実情である。幼稚園にいろいろな話を聞いたうえで、アンケート結果をどのように計画に反映させるか検討したい。

**【委員】**

預かり保育の時間など、園の状況がわかる資料などがあったら、会議がスムーズに進むのではないか。

**【事務局】**

とりまとめをし、委員に資料提供する。

**【委員】**

幼稚園に行っていない子どもが幼稚園の預かり保育を利用することなどはないと思うが、その辺りの回答はどのように整理するのか。

**【柵ぎょうせい】**

これらの質問は複数回答となっている。集計の際には何らかの注釈がついてくると思われる。再整理する。

(2) 次世代育成支援行動計画（後期計画）の評価から見た主要課題について

**【事務局】**

- 次世代育成支援対策に係る評価分析とニーズ調査の集計分析等の結果を踏まえて、事業計画を策定することとなる。改めて、主要な課題として整理した。

- 柵ぎょうせいより主要課題について説明。

**【委員】**

現在、保育所では給食を行っているが、最近はショック状態を伴うようなアレルギーのひどい子どもがいる。費用の面もあるが、対応していくためには人材も必要となる。どのような状況にあるのか知っていただき、これから先の検討課題にあげていただきたい。

**【委員】**

幼稚園で預かり保育を実施しているが、市からの支援はない。新しい支援制度では、配慮いただきたい。

(3) 質疑応答・意見交換

**【委員】**

子ども・子育て支援新制度は、教育の視点を重く見ている。そのことを念頭にいただきたい。

**【委員】**

定型の保育ではなく、付加保育的なものの充実、それらに携わる職員の教育など、しっかり計画に盛り込んでいただきたい。

質問事項

○ 施設型給付の中身が知りたい。

**【事務局】**

施設型給付の基となる公定価格は、現在、国の子ども・子育て会議で検討が進められている。26年度の早い段階で骨格、算定構造が仮の単価ということで示される予定である。今後も国の審議の動向を注視していく。

○ 新制度のための人的支援、養成の実情を聞きたい。

**【事務局】**

新制度で人材確保、職員の養成等については、都道府県が中心となって取り組むこととされている。市としては、事業・施策に対する体制づくりなど、今後の会議で検討いただき、こういった形で計画に盛り込むか検討したい。

○ 新制度について、現時点で防府市が行う新体制は何が決まって

いるのか。

**【事務局】**

今までから一歩進んで、具体的なところを求められていると思う。現行の次世代育成支援行動計画に記載している施策や総合計画などと整合を取りながら、子ども・子育て会議で意見をいただきながら協議を進めたい。

(4) その他

**【事務局】**

資料5「防府市子ども・子育て支援事業計画イメージ」については、事業計画をイメージするために配付したものである。

県が都道府県子ども・子育て支援事業計画を策定するが、それに伴い地域懇談会が開催される。本市の子ども・子育て会議からも2名程度出席依頼があった。

第4回の開催は3月を予定している。

意見等があれば、いつでも事務局までお寄せいただきたい。